

町内会 × 高校生

清田区北野まきば町内会

役員の高齢化が進む町内会で、
女子高校生が役員となり、イベントの企画や
町内会報の執筆などに携わっています



身近な人に楽しんでもらう
喜びを知った—
きっかけは町内会でした

(飯島)



北野まきば町内会 会長

こんどう ゆういちろう
近藤 裕一郎さん

町内会役員若返り策として、幼い頃行事に熱心に参加していた飯島さんに、役員就任を依頼した。

北野まきば町内会
青少年育成副部長

いいじま ゆうか
飯島 優佳さん

北星学園大学附属高校2年生。昨年4月から町内会の役員となり、主に子ども向け行事の企画・運営を担当。

—なぜ、飯島さんが町内会に関わるようになったのですか？
飯島 幼い頃、町内会のお祭りが大好きでよく参加していましたが、小学校を卒業してからは町内会との関わりはありませんでした。そんな中、近藤会長から町内会の役員に誘っていただき、「地域のためにできることがあるなら」と考え、引き受けました。—役員になってみて、町内会への印象は変わりましたか。
飯島 役員を始める前は堅苦しいイメージを持ってましたね(笑)。でも、実際に活動してみると、親しみやすい方ばかりですぐに打ち解けることができました。
—飯島さんが役員になったことで、周りの方からの反応は？
近藤 地域の方から「町内会が明るくなった」と喜ばれています。彼女に声を掛けたのは、若い人の発想で町内会をより活発にしたいという思いからでした。役員になってもらって、周りの大人たちも刺激を受けている気がします。「若者に負けていられない！」という意識の改革につながったのではないのでしょうか。
—昨年開催したカレーパーティーが大盛況だったそうですね。
飯島 地域の子どもたちがカ

レーライスを作り、大人に振る舞うというイベントを初めて企画したところ、200人を超える方が集まってくれました。開催案内のチラシ作りを子どもたちにも手伝ってもらったほか、ゲームの企画では、近所にある介護予防センターの方からアイデアをいただきました。企画をゼロから作り上げるのは大変でしたが、地域の人たちが交流し、絆を深められるイベントになったので、やって良かったと思います。
近藤 こうした世代を超えた交流が、つながりの輪を育みます。多くの方に町内会のイベントなどに参加していただくことで、今後の新たな活動へと広がってきたいですね。

